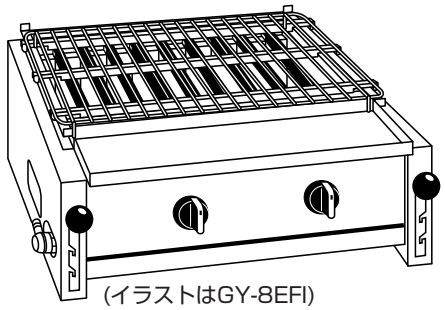
パロマガス焼物器

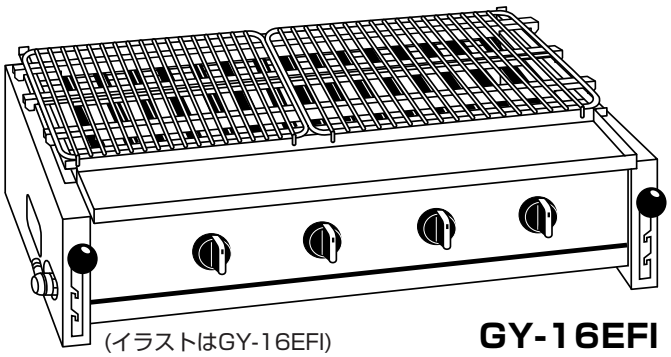
Paloma

取扱説明書 保証書付



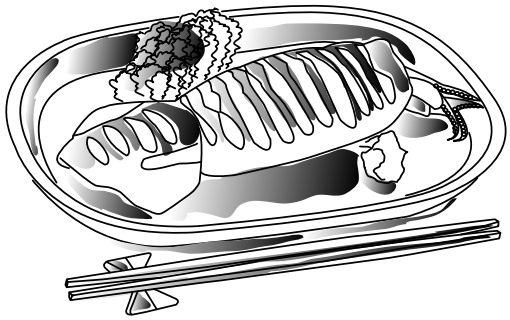
(イラストはGY-8EFI)

GY-8EFI
GY-12EFI



(イラストはGY-16EFI)

GY-16EFI
GY-20EFI



このたびはガス焼物器をお求めいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合はお近くのパロマまでお問い合わせください。

もくじ

必ずお守りください	1
設置	5
使いかた	8
点検とお手入れ	10
故障かな？と思ったら	12
アフターサービス	13
仕様	14
保証書	裏

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

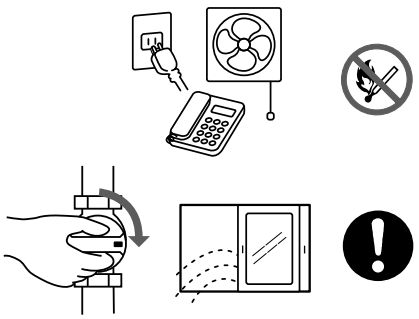
絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止　火気禁止　接触禁止　分解禁止　発火注意　必ず行う

⚠危険

ガス漏れ時使用厳禁

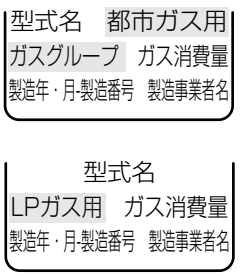
ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店かガス事業者に連絡する。



⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

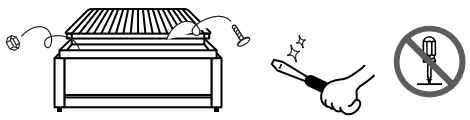
表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。



⚠警告

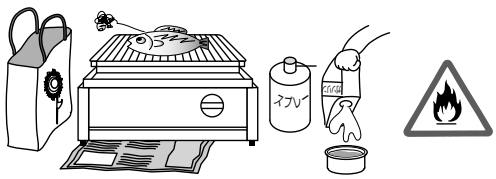
絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



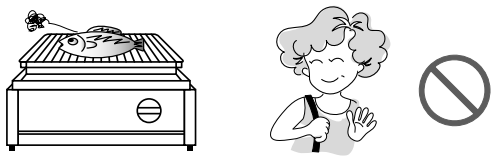
機器の周囲に可燃物や引火物を置かない、近づけない、また使用しない

カーテン、新聞紙、紙袋、ガソリン、ベンジン、カセットこんろ用ボンベ、スプレー缶などは火災や爆発、不完全燃焼の原因になります。



火をつけたまま離れたり、外出、就寝の禁止

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。



ねじ接続の場合

接続は配管技能者が行う必要がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

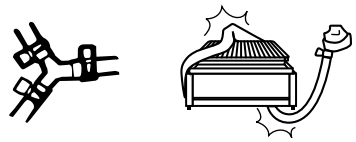
使用時は点火確認、使用中は燃焼確認をし、使用後は器具栓を閉め消火していることを確認する

異常時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合は迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」（12ページ）に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する。

ゴム管接続の場合

ゴム管はガス用ゴム管（検査合格マークまたはJISマーク入り）を使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止めてください。
ガスコードをご使用の場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続してください。
①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
②機器の上や下を通したり、機器に触れないようにする
③他の熱源などの高温部に触れない
④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
⑤接続口に汚れやゴミがないようにする
●正しく接続されないと、ガス漏れの原因になります。
●ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。



ゴム管はときどき点検して取り替える

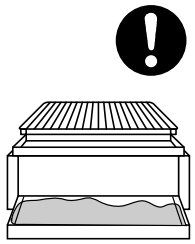
古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

必ずお守りください

⚠警告

水入れ皿に水を入れて使用する

水が入っていないと魚・肉から出た脂が発火したり、置台過熱のおそれがあります。また、水入れ皿に水がなく、脂や塩等がたまった状態で長時間放置されると、水入れ皿に穴があくおそれがあります。

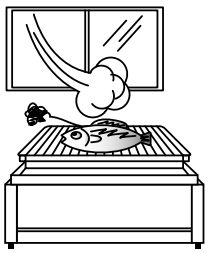


使用中・使用直後は機器を移動させない

火災・やけどの原因になります。

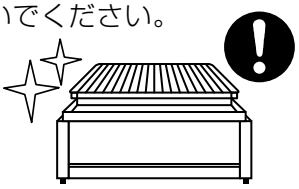
機器に風があたる状態で使用しない

風による消火でガスが漏れ、火災になるおそれがあります。



当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外の物を使用した場合の機器の故障、事故については当社では責任を負いかねます。

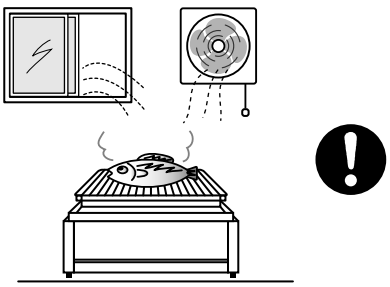


⚠注意

ガス事故防止

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

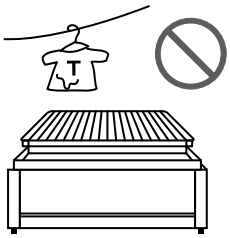
＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。



焼き物調理以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。

＊煮物や揚げ物などこんろとして使用しないでください。



幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。

使用中はバーナ付近に触れない

衣服に炎が移ったりする場合があります。

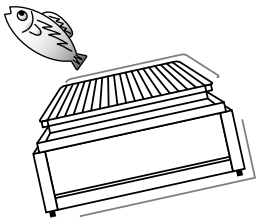
バーナ付近に顔を近付けない

熱や炎でやけどをするおそれがあります。

⚠注意

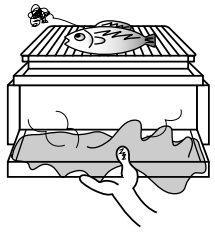
キャンピングカーや船舶など不安定な場所で使わない

事故や故障の原因になります。



水入れ皿を勢いよく引き出さない

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

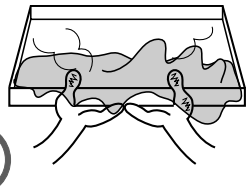


取りはずして洗えるところ以外は水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼の原因になります。

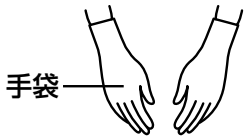
水入れ皿を持ち運びする際は、水がこぼれないように注意する

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



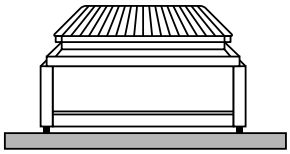
お手入れは手袋をはめてする

はめないと機器の角などでケガをするおそれがあります。



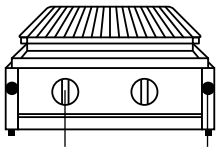
塗装・漆など熱に弱い食卓テーブルの上で使うときは不燃性の断熱材を敷く

変色のおそれがあります。



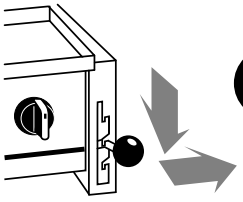
使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子さまに注意してください。



グリル棚調節レバーを確実にロックする

使用中に焼網が動くとやけどなどの原因になります。



おねがい

使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

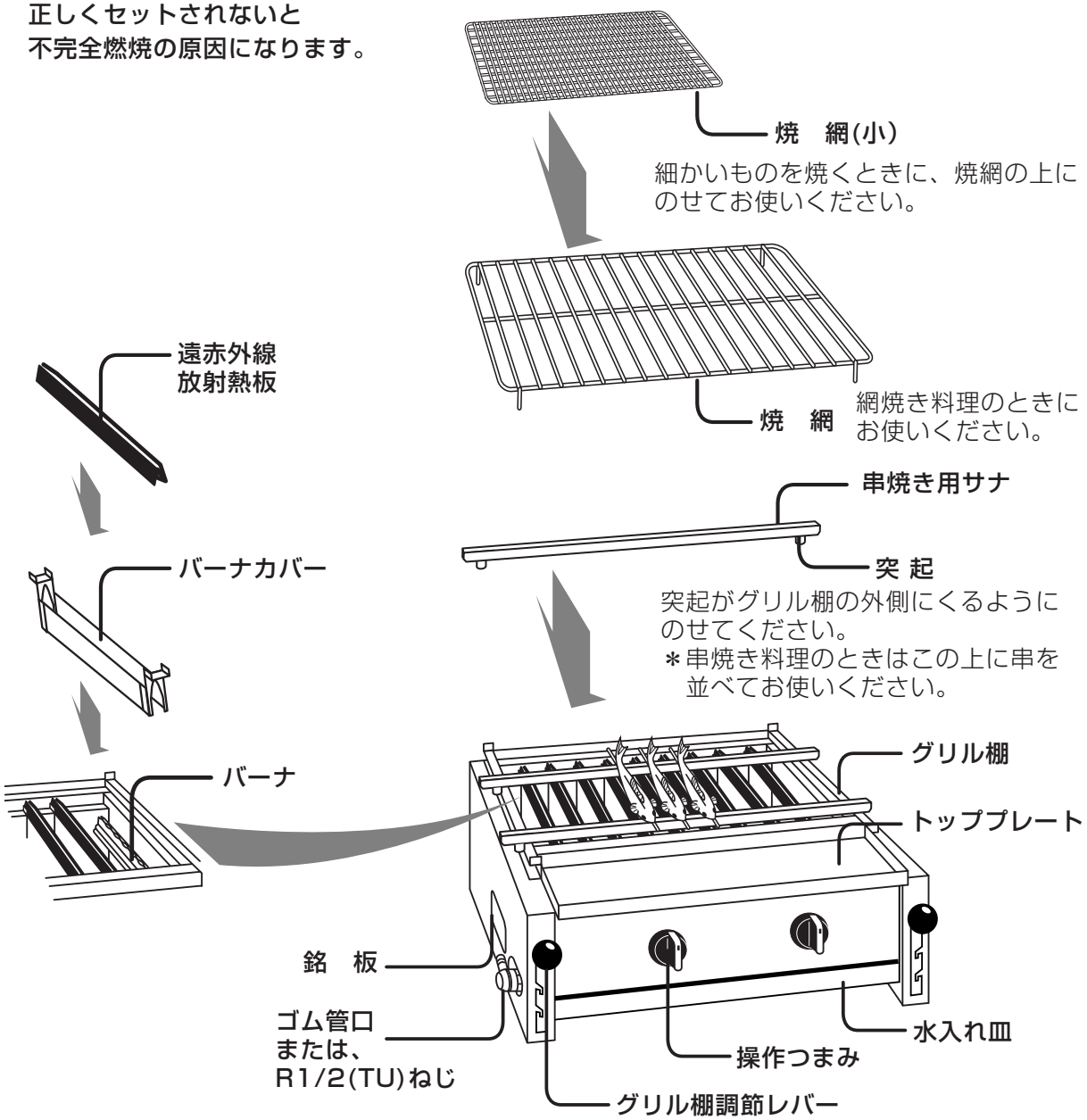
設置について

ガス種の確認

①使用するガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する

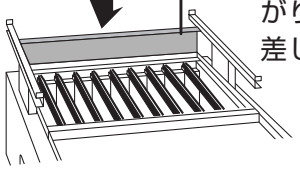
各部のなまえ・部品のセット

イラストはGY-8EFIです。
正しくセットされないと
不完全燃焼の原因になります。

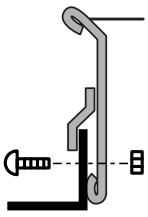


防風板のセット

防風板(後)



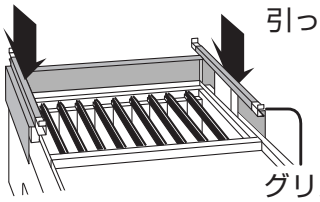
①機器後部の立ち上がり部に差し込む



防風板(後)

②ビス止めする

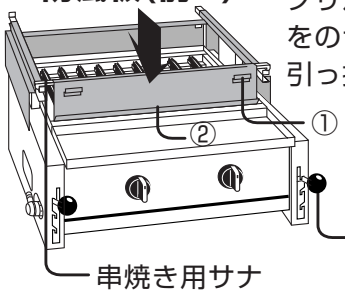
防風板(左・右)



グリル棚に引っ掛ける

グリル棚

防風板(前A)



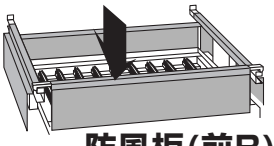
グリル棚調節レバーを2段目にセットする場合、
グリル棚に串焼き用サナをのせ、防風板(前A)を引っ掛ける

①

②

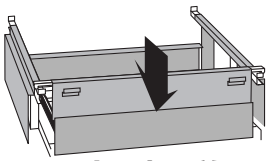
グリル棚調節レバー

串焼き用サナ



防風板(前B)

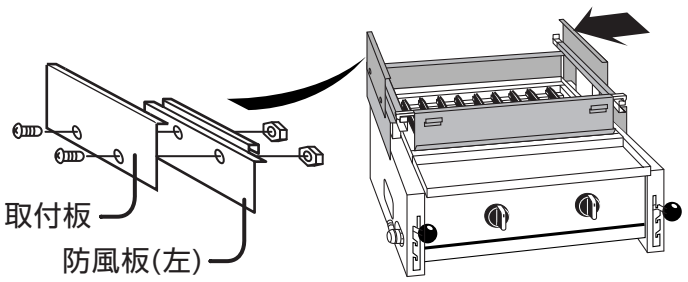
グリル棚調節レバーを3段目にセットする場合、
防風板(前A)の①に防風板(前B)を引っ掛ける



防風板(前B)

グリル棚調節レバーを4段目にセットする場合、
防風板(前A)の②に防風板(前B)を引っ掛ける

ガス種が12A・13Aの場合は防風板(左・右)に取付板(左・右)をビス止めする



取付板

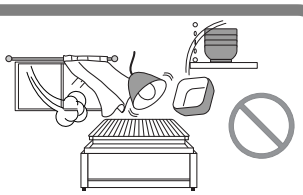
防風板(左)

設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

⚠警告

- ●換気が良い
- ●水平で安定している
- ●落下物の危険がない
- ●周囲に可燃物がない
- ●風が吹き込まない
- ●水や熱がかからない
- ●GY-12EFI/GY-16EFI/GY-20EFIは給気口と排気フード付排気筒のついた場所で使用する



設置について

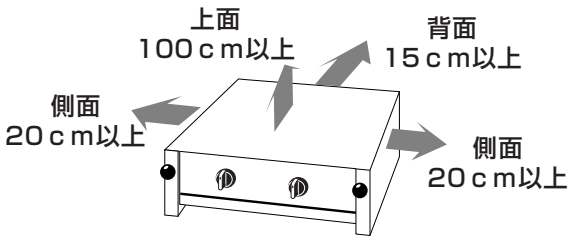
防火措置

各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。

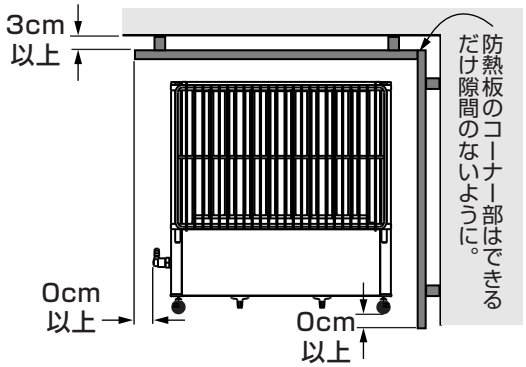
⚠警告 ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②の防火措置を必ず行う

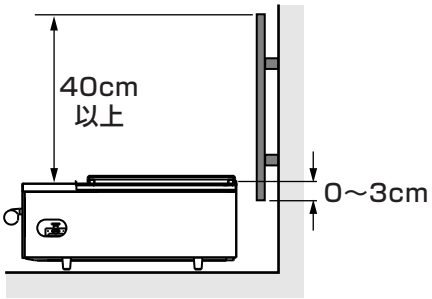
→伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
＊設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する



② ①の条件を満たせない場合は防熱板(厚さ6～9mmの不燃ボード)を取り付ける

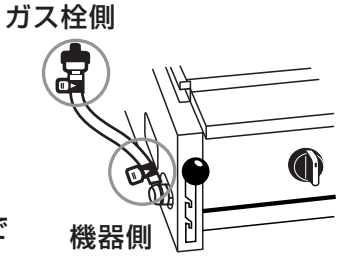




ゴム管の接続(ゴム管接続機器の場合)

用意するもの:◎φ9.5mmまたは
φ13mmのガス用ゴム管（新品）１本
（お使いのガスに合わせてお選びください。）

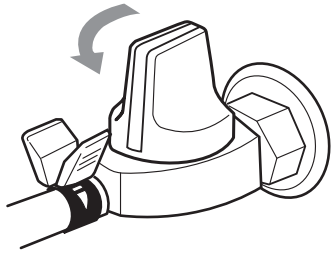
◎ゴム管止め2個

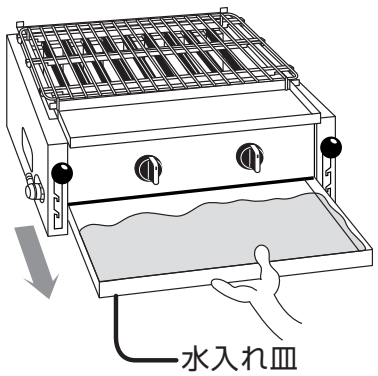


①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
③操作つまみが「止」の位置にあることを確かめてからガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

使いかた

1準備



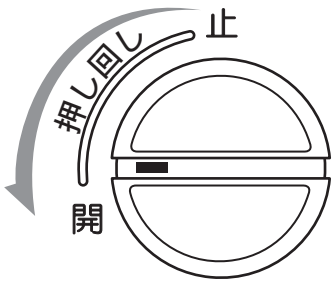


①操作つまみが「止」の位置にあることを確かめる

②ガス栓を全開にする

③水入れ皿に水を半分ほど入れる

2点火



①操作つまみをいっぱいに押しながら「開」の位置まで回す

●バーナに火移りしたことを確認してから手を離してください。

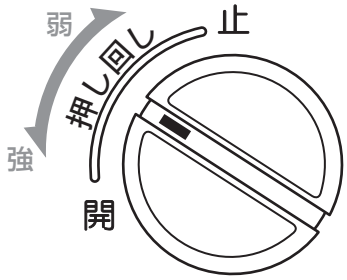
②手を離しても点火していることを確認する

おねがい

●初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

使いかた

3火力調節

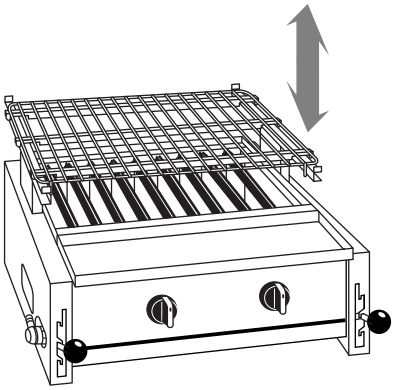


炎を見ながら操作つまみをゆっくり回す

●弱火でお使いのときは、立消えにご注意ください。
●使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

焼網の高さ調節のしかた

グリル棚の位置を4段階で変えることができます。焼物の種類や大きさにより使い分けてください。



高くするとき

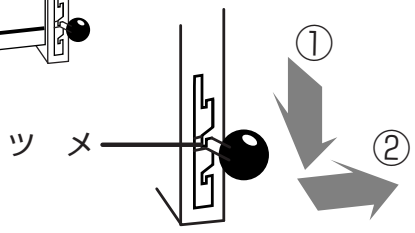
①グリル棚調節レバーを押し下げる

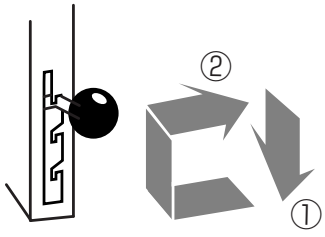
②お好みの位置で、レバーを外側へ押し、ツメに確実にロックさせる

低くするとき

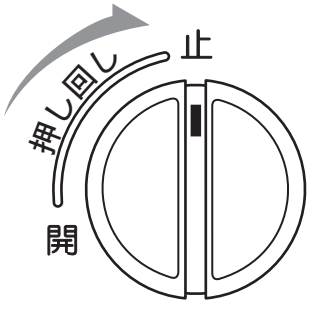
①グリル棚調節レバーを内側に少し押し下げてロックをはずす

②レバーが上へ上がるので、お好みの位置でレバーをツメに確実にロックさせる





4消火



①操作つまみを「止」の位置まで戻す

●消火を確かめてください。

②ガス栓を閉める

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

点検とお手入れ

点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
（機器が冷えるまで時間がかかります）

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」（12ページ）を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有料）

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

機器のまわりに可燃物等はありませんか？
機器のまわりに可燃物や障害物がないようにしてください。（2・6ページ参照）

各部品は正しくセットされていますか？
バーナカバー、遠赤外線放射熱板、串焼き用サナ、水入れ皿などが正しくセットされているか確認してください。バーナカバー、遠赤外線放射熱板がきちんとはまっていないと、バーナの炎が不ぞろいになり、逆火してバーナを傷めます。　（5ページ参照）

ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？
赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。古くなるとひび割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。（7ページ参照）

汚れていませんか？ お手入れしてください。（10・11ページ参照）

バーナの炎口が詰まっていませんか？ お手入れしてください。（11ページ参照）

水入れ皿に多量の脂がたまっていませんか？ 汚れた水は取り替えてください。（11ページ参照）

ガス臭くありませんか？
ガス栓を開け、ゴム管の接続部からガスの臭いがしないことを確かめてください。
（12ページ参照）

お手入れのしかた

● 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
● お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認をしてください。（5ページ参照）
お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

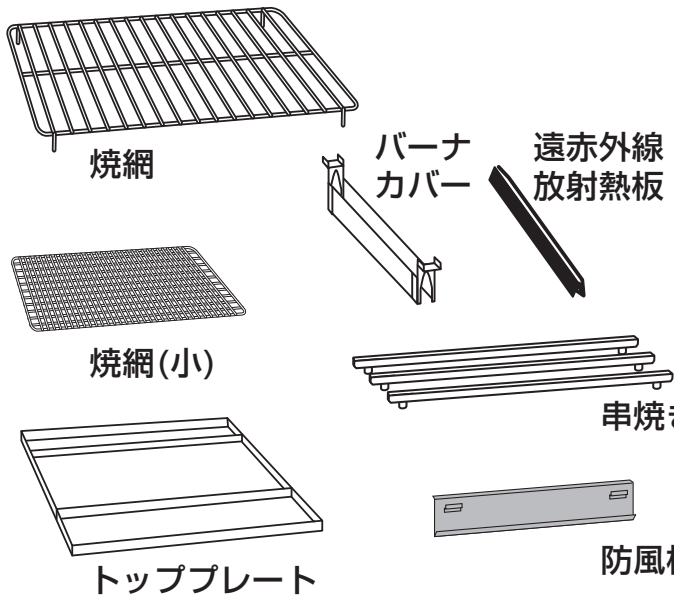
おねがい
加熱した焼網、串焼き用サナ、遠赤外線放射熱板、水入れ皿を水などで急に冷やさないでください。変型したり、水が加熱されて飛び散ったりして危険です。
シンナー、ベンジンや酸性･アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。

点検とお手入れ

機器本体　乾いた布で汚れをふき取る

●汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

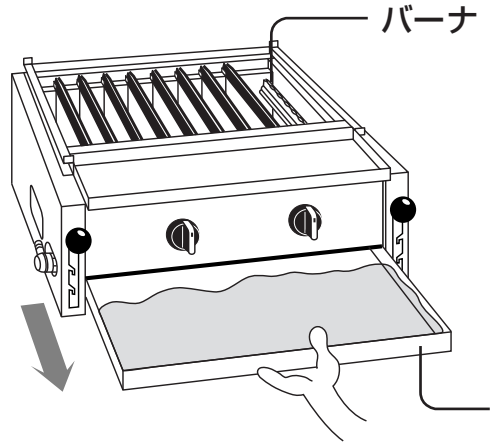
＊汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなります。



台所用中性洗剤で水洗いし、乾いた布で水気をふき取る

＊汚れや水気を付着させたままにしておくとさびの原因になります。

＊遠赤外線放射熱板の汚れのひどいときはタワシ等で洗ってください。



バーナがひどく汚れたときは、バーナのあなを金属ブラシや釘などで掃除する

＊目づまりすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

**水入れ皿の汚れた水を捨て、台所用中性洗剤で水洗いする
その後乾いた布で水気をふき取る**

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。
下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまご連絡ください。

現　象	原　因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	8
	ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	2
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	2
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする	11
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	8
	点火操作が不適切	バーナに火移りしたことを確認してからから手を離す	8
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	ー
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする	11
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	2
	ゴム管のひび割れ・穴あき	新しいゴム管と交換する	2

故障ではない場合	理　由
点火･消火のときに「ボッ」という音がする	点火音･消火音で、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
③汚れを取り除く（10・11ページ参照）
④箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

前ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。
なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

1.ご住所・ご氏名・電話番号
2.現象(できるだけ詳しく)
3.品名・型式名(銘板表示のもの)
4.ご購入日・ガス種
5.道順・目標

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6F	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400
受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）		

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、5年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。
お買い求めの際は、必ず銘板の型式名をお知らせください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

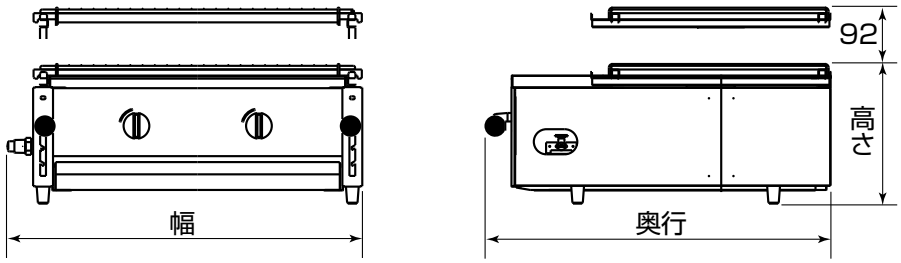
仕　様

品　名		GY-8EFI	GY-12EFI		GY-16EFI	GY-20EFI
型式名		GY-8EFI	GY-12EFI		GY-16EFI	GY-20EFI
種　類		ガス焼物器				
点火方式		圧電点火装置				
外形最大寸法（高さ×幅×奥行）		234×600×566mm	234×800×566mm	234×824×566mm	234×1000×566mm	234×1200×566mm
質量（本体）		14.0kg	19.8kg		25.8kg	31.7kg
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管	LP	LP	—	—	—
	φ13mmガス用ゴム管	12A・13A・L1・6A・5C	12A・13A	L1・6A	—	—
	R1/2(TU)ねじ	—	—		LP・12A・13A	LP・12A・13A
付属品		遠赤外線放射熱板…8個	遠赤外線放射熱板…12個		遠赤外線放射熱板…16個	遠赤外線放射熱板…20個
		バーナカバー…8個	バーナカバー…12個		バーナカバー…16個	バーナカバー…20個
		焼網…1枚/焼網(小)…1枚/串焼き用サナ…3本			焼網…2枚/焼網(小)…1枚/串焼き用サナ…3本	

使用ガス ガスグループ		ガス消費量			
		GY-8EFI	GY-12EFI	GY-16EFI	GY-20EFI
都市ガス用 kW	12A	9.78	14.5	19.2	23.9
	13A	10.5	15.6	20.6	25.6
	L1(6B,6C,7C用)	8.68	13.4	—	—
	6A	9.60	14.4	—	—
	5C	8.90	—	—	—
LPガス用 kW		9.80	14.7	19.6	24.5

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

[外形寸法図:mm]



保 証 書

品　名	ガス焼物器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には､お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

〔イ〕取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
〔ロ〕お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
〔ハ〕公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
〔ニ〕本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
〔ホ〕消耗部品の取替えおよび保守等の費用
〔ヘ〕本書の提示がない場合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

見本

お客様	お名前　　様	保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から1年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145

修理記録

年　月　日	修理内容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

22. 8. ⑥　98　20645